

アセットマネジメントを自治体行政に活かすには

共催

NPO法人 シビルNPO連携プラットフォーム (CNCP)
NPO法人 社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会 (SLIM JAPAN)

開催日

2018. **8.21(火)** 12:45~18:45 (12:00開場)

場所：東京大学伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

定員：350名程度 (先着順)

参加費：6,000円、学生3,000円 (自治体参加者は無料)

※土木学会認定(予定)CPDプログラムです。

協賛：インフラ長寿命化研究会(産業競争力懇談会(COEN)連携活動)、インフラメンテナンス国民会議、
(公社)土木学会、(株)日刊建設通信新聞社、(一社)日本アセットマネジメント協会、
(公社)日本ファシリティマネジメント協会

後援：(株)アイ・エス・エス、アイセイ(株)、(株)オリエンタルコンサルタンツ、国際航業(株)、スバル興業(株)、
(株)東京ハイウェイ、ハイウェイ開発(株)、復建調査設計(株)



地下鉄大江戸線 本郷三丁目駅 徒歩6分
地下鉄丸ノ内線 本郷三丁目駅 徒歩8分

開会

12:45~
13:00

先端研究紹介の部

- 講演1 「内閣府SIPインフラメンテナンスの活動について」**
横浜国立大学先端科学高等研究院 上席特別教授、
内閣府総合SIPプログラムディレクター 藤野 陽三 教授
- 講演2 「最新のアセットマネジメントの取り組み」**
京都大学経営管理大学院教授、土木学会会長、
(一社)日本アセットマネジメント協会(JAAM)会長 小林 潔司 教授
- 講演3 「地域の人材育成における大学の役割」**
長岡技術科学大学名誉教授、
インフラメンテナンス国民会議 北陸フォーラム リーダー 丸山 久一 教授

先端研究
紹介

13:00~
14:30

討
論

14:40~
17:30

討論の部

- テーマ講演 「アセットマネジメントを行政運営に活かす」**
東京大学大学院 工学系研究科 小澤 一雅 教授
- パネル
ディスカッション 「自治体におけるアセットマネジメントの有効な推進を目指して」**
- 国土交通省総合政策局事業総括調整官 吉田 邦伸氏
桑名市長 伊藤 徳宇氏
(株)オリエンタルコンサルタンツ 代表取締役社長 野崎 秀則氏
(財)首都高速道路技術センター 上席研究員 高木 千太郎氏
- パネリスト
- ファシリテーター 東京大学大学院 工学系研究科 小澤 一雅 教授

閉
会

17:30~
17:35

名刺
交換会

17:45~
18:45

お申込み

本ご案内の2ページ以降に、より詳細な情報と参加申込書を添付しております。
E-mailまたはFAXにてお申し込みください。

お問合せ

事務局 / 株式会社アイ・エス・エス 気付
CNCP・SLIM JAPAN共催 合同シンポジウム担当 角(スミ)・小椋

TEL 03-6408-6177

E-mail 2018_godosympo@issinc.co.jp

平成 30 年 6 月 6 日

各 位

NPO 法人シビル NPO 連携プラットフォーム (CNCP)

代表理事 山本卓朗

NPO 法人社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会(SLIM JAPAN)

理事長 有岡正樹

CNCP・SLIM JAPAN 共催

「合同シンポジウム ―アセットマネジメントを自治体行政に活かすには―」

開催案内

(注：ここでは、アセットマネジメントとインフラマネジメントを次のように定義し、区分して使用します。)

- ・アセットマネジメント：広義には、投資用資産の管理を実際の所有者・投資家に代行して行う業務
アセットからの価値を実現化する組織の調整された活動 (ISO55000)
- ・インフラマネジメント：アセットマネジメントの中の特殊用語であり、資産の金融面よりも物理面に焦点を当て
(International Infrastructure Management Manual, 2000)、インフラを効率的に
運営し、LCC を最小化し、各年度予算を平準化するための技術やシステムを構築する業務

一般に、地方自治体にはインフラマネジメントを推進するだけのお金、人、技術が十分ではないと言われています。だとすれば、「産官学」のリソース（予算・技術・人材）を総力挙げて投入していかなければなりません。

すでに、内閣府が実施する戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) や国土交通省のインフラメンテナンス国民会議の取組が途上であり、そこではインフラマネジメントに係る革新的技術・先進的材料・データ管理あるいは技術者育成やインフラマネジメントシステムの地域への実装が少しずつ試行され始め、地域型アセットマネジメントの推進が図られようとしています。インフラマネジメント関連の要素技術や運用システムについては、自治体が運用できる環境がある程度整いつつあるといえましょう。

したがってこれからは、どのようにアセットマネジメントを自治体の行政運営に活かしていけるかが課題ではないかと考えます。一例ですが、職員が企業会計的な思考を持つにはどんな意識改革が必要か、インフラマネジメントの PDCA サイクルをうまく回すには官民がどんな役割分担をするのが良いか、あるいはアセットマネジメントを推進する上で実効を発揮する体制（例えば、縦割りから横串を刺す組織へ）を敷くにはどんな工夫をすべきか、市民との合意形成の方法は？等の課題を共有したいと思い、このシンポジウムを企画しました。

合同シンポジウムには、この方面で長年啓発活動をなさっている先生方、実業でインフラマネジメントに携わっておられる民間企業の方、及び国・自治体行政の最前線でこの方面に取り組んでおられる方々をお招きし、産官学の立場からご意見を述べて頂く予定です。少しでも多くの方々と課題を共有し、輪が広がれば望外の喜びと思い、合同シンポジウムにお誘い申し上げます。

(文責：中村裕司：SLIM JAPAN 副理事長、(株)アイ・エス・エスグループ本社代表取締役社長)

◎日時：平成 30 年 8 月 21 日（火） 12 時 45 分～18 時 45 分

（受付開始：12 時、シンポジウム 12 時 45 分～17 時 35 分、名刺交換会 17 時 45 分～18 時 45 分）

◎会場：東京大学伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

◎プログラム

※シンポジウム進行担当：丸山明氏（SLIM JAPAN 理事、（株）アイ・エス・エス代表取締役）

1) 開会及び関連組織・団体紹介……………12 時 45 分～13 時

開会挨拶 第 99 代土木学会会長、現 CNCP 代表理事 山本卓朗氏

協賛・後援組織代表紹介 各組織代表

2) 先端研究紹介の部……………13 時～14 時 30 分

講演 1. 「内閣府 SIP インフラメンテナンスの活動について」

横浜国立大学先端科学高等研究院 上席特別教授、内閣府総合 SIP プログラムディレクター 藤野陽三教授

講演 2. 「最新のアセットマネジメントの取り組み」

京都大学経営管理大学院教授、土木学会会長、（一社）日本アセットマネジメント協会(JAAM)会長 小林潔司教授

講演 3. 「地域の人材育成における大学の役割」

長岡技術科学大学名誉教授 インフラメンテナンス国民会議 北陸フォーラム リーダー 丸山久一教授

<休憩>……………14 時 30 分～14 時 40 分

3) 討論の部……………14 時 40 分～17 時 30 分

テーマ講演 「アセットマネジメントを行政運営に活かす」……………14 時 40 分～15 時 20 分

東京大学大学院 工学系研究科 小澤一雅教授

パネルディスカッション

「自治体におけるアセットマネジメントの有効な推進を目指して」……………15 時 20 分～17 時 30 分

パネリスト

国土交通省総合政策局事業総括調整官 吉田 邦伸氏

桑名市長 伊藤 徳宇氏

（株）オリエンタルコンサルタンツ 代表取締役社長 野崎 秀則氏

（財）首都高速道路技術センター上席研究員 高木千太郎氏

ファシリテーター

東京大学大学院 工学系研究科 小澤一雅教授

4) 閉会……………17 時 30 分～17 時 35 分

閉会挨拶 SLIM JAPAN 理事長 有岡正樹氏

5) 名刺交換会……………17 時 45 分～18 時 45 分

◎会場：東京大学伊藤国際学術研究センター 多目的スペース

※名刺交換会進行担当：武田大輔氏（インフラ長寿命化研究会（COCN 連携活動）自治体モデル事業 WG 主査、インフラメンテナンス国民会議 広報部会員、（株）アイ・エス・エス執行役員）

◎定員 350 名程度

※先着順とさせていただきますが、申し込みが多数になった場合は、一団体からの参加人数を限らせていただく場合もございます。その場合はご了承ください。

◎参加費 6,000 円、学生 3,000 円

※自治体参加者は無料とさせていただきます。席数は 50 名程度確保しております。

※本行事は土木学会認定(予定) CPD プログラムです。

◎申込方法・申込期限

1) 申し込み方法

メールまたは FAX にてお送りください。

メールの方は、メール本文に参加希望者の①氏名②ご所属 勤務先・関連団体名③電話番号④E-mail をご記入ください。

※関連団体につきまして、現在ご所属されている団体（または案内連絡があった団体）がありましたらご記入ください：CNCP・SLIM JAPAN・COCN・インフラメンテナンス国民会議・JAAM・JFMA・その他団体（_____）

FAX の方は、チラシの申し込み用紙をご利用ください。

・メール：2018_godosympo@issinc.co.jp ・FAX：03-6408-6199（CNCP・SLIM JAPAN 共催
合同シンポジウム事務局 角(スミ)・小椋宛）

2) 申し込み期間

平成 30 年 6 月 18 日（月）～平成 30 年 7 月 31 日（火）

※ただし、定員に達した場合はその時点で申し込みを締め切る場合もございます。

3) お支払い方法

お申し込み後、参加票の送付と共に振り込み先をお伝えしますので、記された指定口座にお振り込みください。

※恐れ入りますが、振り込み手数料は参加者様のご負担願います。

※領収書につきましては、お振り込み後にメールまたは FAX にてお送りいたしますので、そちらをご利用ください。

◎共催 CNCP・SLIM JAPAN

◎協賛 インフラ長寿命化研究会(産業競争力懇談会(COCN)連携活動)、インフラメンテナンス国民会議、
(公社)土木学会、(株)日刊建設通信新聞社、(一社)日本アセットマネジメント協会、
(公社)日本ファシリティマネジメント協会

◎後援 (株)アイ・エス・エス、アイセイ(株)、(株)オリエンタルコンサルタンツ、国際航業(株)、スバル興業(株)、
(株)東京ハイウェイ、ハイウェイ開発(株)、復建調査設計(株)

◎お問合せ/事務局

株式会社アイ・エス・エス 気付 CNCP・SLIM JAPAN 共催 合同シンポジウム担当 角(スミ)・小椋
〒106-0047 東京都港区南麻布 5-2-32 興和広尾ビル 2F
電話 03-6408-6177
メールアドレス 2018_godosympo@issinc.co.jp

合同シンポジウム「アセットマネジメントを自治体行政に活かすには」

参加申込書

申込日 年 月 日

合同シンポジウム「アセットマネジメントを自治体行政に活かすには」に参加します。

フリガナ			
参加者氏名		※2 人目	※3 人目
ご所属 会社名			
ご所属 関連団体名※当では まるものに“○”をお付けください。	CNCP・SLIM JAPAN・COCN・インフラメンテナンス国民会議・JAAM・JFMA・ その他団体（ ）・なし ※ご所属されていなくても、上記団体からの案内連絡があった場合も、ご記入ください。		
電話番号			
E-mail または Fax 番号			

※取得する個人情報については、シンポジウムに関するご案内・ご連絡、シンポジウムの参加登録のみに利用いたします。
申込書から取得した個人情報を第三者に提供することはありません。

お問合せ先

株式会社アイ・エス・エス 気付
CNCP・SLIM JAPAN 共催 合同シンポジウム担当 角(スミ)・小椋
〒106-0047 東京都港区南麻布 5-2-32 興和広尾ビル 2F
電話番号 : 03-6408-6177
FAX 番号 : 03-6408-6199
メールアドレス : 2018_godosympo@issinc.co.jp